



9/28 味の素スタジアムで開幕 - . 東京国体に反対するこれだけの理由

9月28日から、東京国民体育大会（スポーツ祭東京）がついに始まる。東京都や市町村は、「スポーツの祭典」とうたってジャブジャブ税金を注ぎ込んでいるが、都民の盛り上がりは全く感じられない。はたしてこんなスポーツ行事をやっている場合なのか？

理由 1100 億円の税金をかけて開催

東京国体のために使われてきた税金は、実に 1100 億円に上る。3 分の 1 は東京都の支出だが、3 分の 2 は市区町村からの支出だ。もちろん全てが税金。150 億円（墨田区体育館）、20 億円（日野市ホール）といった巨大な箱モノが、国体に合わせて次々と整備されている。

1100 億といってもピンと来ないが、調布市の年間予算が約 800 億円というから、それをはるかに上回っているのだ。

会計も不明朗だ。東京都は今年 100 億円近い予算を「競技用具や事務局の文具の購入。審判団への謝礼」にあてるといふ。運動用具メーカーや競技団体との癒着が疑われるではないか！

人件費も馬鹿にならない。東京都は 100 人以上の職員が国体開催に専念。市町村でも国体担当に数十人をあてている自治体もある。1100 億円もの税金をかけてまで開催する価値は、国体にはない。

理由 八百長・不正が横行する国体

国体は今年で第 68 回を迎えるが、開催県が必ず優勝するという「慣習」が続いている。スポーツ大会で優勝チームが決まっているのだから、八百長・不正が横行するのは当たり前だ。

2002 年の高知国体では、ソフトボール協会が高知県を優勝させるために組織ぐるみで審判の不正ジャッジを指揮し、不正が明るみに出て協会会長が辞任に追い込まれた。

近年では 2011 年の山口国体で、生活実態のない有力選手が数多く「山口代表」として出場し、弁護士会に告発されている。こうした八百長・不正が横行しているため、国体の地位はますます低下する一方だ。

理由 殺人競技・銃剣道も正式種目

国体で行われる極め付きの珍競技が、「銃剣道」である。この競技、旧日本軍が銃の先につけた剣（銃剣）での突撃戦闘を想定して開発した戦技である。

とてもスポーツとはいえない代物で、選手も審判も 95% が自衛官か自衛官OB。競技人口も少なく、全国大会でも団体戦に代表選手を出せない県があるほどだ。

東京国体で競技が行われる練馬区では、地域の反対運動も巻き起こっている。



理由 国体予算で五輪招致という不正



東京都が2020年オリンピック招致に熱をあげているのは周知の事実。だが、五輪招致が「東京国体」の予算で行われているというから驚きだ。

都は昨年・今年と、「五輪招致と国体の宣伝」を同時に行うための補助金を自治体にばらまいた。1自治体あたり1000万円ものお金が配られ、五輪招致ののぼりや横断幕に姿を変えた。

国体予算からの流用は、大きな問題である。

理由 天皇行事だからやめないって？

では結局、なぜ国体はなくなるのだろうか？それは天皇夫妻が出席する「天皇行事」だからである。

1947年に昭和天皇が参加して以降、天皇夫妻は国体の開会式に参加し続けてきた。今年の「味の素スタジアム」の開会式でも、天皇の参加は決まっている。

天皇にとっても「国民と触れ合う」貴重な機会が国体だ。そして国体を続けたい日本体育協会や運動団体、文科省にとっては、天皇の参加は「錦の御旗」となる。天皇をありがたがる限り、国体は終わらない。



発行：やってる場合か！「スポーツ祭東京」実行委員会

WEB http://www.geocities.jp/yatteru_201213/

連絡先 yatteru_201213@yahoo.co.jp 03 - 3207 - 1273

みんな来てね!

